

第2次新座市子ども・子育て支援事業計画 進捗管理表（関連施策）

基本目標 I すべての子どもが健やかに、幸せに育つことを応援するために										
基本施策 I 子どもの育ちを応援する事業										
No.	事業名	事業内容	令和2年度実績			令和3年度予定			備考	担当課
			内容	進捗度	理由	実施予定	理由	内容		
1	(例) 児童の権利に関する啓発	(例) 子どもの保護と基本的人権の尊重を促進することを目的とした「子どもの権利条約」の啓発・普及に努める。	(例) 子どもの保護と基本的人権の尊重を促進することを目的とした「子どもの権利条約」の啓発・普及に努めた。広報5月号に啓発記事を掲載した。	B		継続		(例) 子どもの保護と基本的人権の尊重を促進することを目的とした「子どもの権利条約」の啓発・普及に努める。		こども支援課
2	(例) 家庭児童相談員の健診事業等への参加	(例) 1歳6か月児健診や3歳児健診の会場で発達や育児の相談を受け、必要に応じグループ指導につなげたり、専門機関へ紹介を行うなど、関係機関と連携を図りながら支援を行う。	(例) 1歳6か月児健診や3歳児健診の会場で発達や育児の相談を受け、必要に応じ健診事後指導グループにつなげたり、専門機関へ紹介を行うなど関係機関と連携を図りながら支援を行った。 1歳6か月児健診年間23回、3歳児健診年間22回、1歳6か月児健診事後指導グループ年間22回実施。	C	(例) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1歳6か月児健診は1回、3歳児健診は2回、1歳6か月児健診事後指導グループは2回、当初の予定よりそれぞれ回数を減らした。	縮小	(例) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、回数を減らして実施する。	(例) 1歳6か月児健診や3歳児健診の会場で発達や育児の相談を受け、必要に応じ健診事後指導グループにつなげたり、専門機関へ紹介を行うなど関係機関と連携を図りながら支援を行う。 1歳6か月児健診、3歳児健診年間各12回、1歳6か月児健診事後指導グループ年間12回実施予定（当初は各24回の実施を予定していた。）。		こども支援課

進捗度	
A	事業を拡大して実施した
B	事業を計画どおり実施した
C	事業を縮小して実施した
D	事業を実施していない／休止又は中止した
E	事業を廃止した

1

実施予定
拡大
継続
縮小
休止又は中止
廃止

2

コメント 1 こども支援課
【内容】（令和2年度実績）
第1次新座市子ども・子育て支援事業計画の評価方法と同様に、令和2年度の実施状況の概要（実施回数、参加者数、方法、補助対象者数、実績額など具体的に）を記載する。

コメント 2 こども支援課
【進捗度】（令和2年度実績）
第1次新座市子ども・子育て支援事業計画の評価方法にあった事業の普及度、時代的要請度は削除し、1のとおりの5段階に分けて進捗状況を管理する。

コメント 3 こども支援課
【理由】（令和2年度実績）
進捗度がA、C、D、Eのいずれかに該当する場合は、その理由を記載する（補完する事業がある場合はその内容を記載する。）

コメント 4 こども支援課
【実施予定】（令和3年度予定）
2のとおりの、令和3年度の予定を「拡大」、「継続」、「縮小」、「休止又は中止」、「廃止」のいずれかを記載する。

コメント 5 こども支援課
【理由】（令和3年度予定）
実施予定で、「縮小」、「休止又は中止」、「廃止」の場合は、その理由を具体的に記載する。

コメント 6 こども支援課
【内容】（令和3年度予定）
令和3年度の予定を記載する。